

中海の自然再生と「湿地の文化」

日本のラムサール条約登録湿地は50カ所になりました。それらには様々なタイプがありますが、より良く活用されている湿地ほど、より良く保全・再生されています。その理由は、湿地の恵みが人々の暮らしを豊かにしているからです。そうした人々の生活スタイルを「湿地の文化」と呼びます。それは、「自然・再生の文化」、「賢い利用の文化」、「交流・教育・力量形成・参加と気づきの文化」から成ります。湿地の文化の視点から、中海の自然再生について考えてみましょう。

入場無料

平成**27**年**11**月**3**日(火)

9:30 ~ 12:00

会場

**米子コンベンションセンター
第3会議室**

講演会 9:30~11:00

第2回 第5期中海自然再生協議会 11:00~12:00

(協議会委員の方以外は、オブザーバー参加となります)



講師 笹川 孝一 氏

◆プロフィール

法政大学 キャリアデザイン学部 教授、
東アジア成人教育フォーラム名誉会長、国際成人継続教育殿堂受賞
近著『湿地の文化と技術 東アジア編～受け継がれた技と知恵と智慧～』
日本国際湿地保全連合(2015年3月 刊)

主催：中海自然再生協議会

共催：認定NPO法人自然再生センター
島根大学汽水域研究センター

連絡先：中海自然再生協議会事務局
(認定NPO法人自然再生センター 担当：桑原)
〒690-0064 島根県松江市天神町114
TEL：0852-21-4882 FAX：0852-61-0900
E-mail：info@sizen-saisei.org
HP：http://www.nakaumi-saisei.org/

